2021教職員生活・意識実態調査 ＜大学教職員版＞実施：2/1８-3/13

日本大学教職員組合

　　　　　　　　＜連絡先＞Mail:　nichidai.kumiai@gmail.com

HP:　<https://union-nihon.sakura.ne.jp>

　教職員組合では毎年、春闘要求作りの基礎資料としてアンケートを実施しています。教育・研究・労働条件を改善していくための要求作りのみならず、今後の組合活動にも生かしたいと思います。各支部の役員の皆さんを中心に、組合員・非組合員の方々に1人でも多くご回答いただきますようお願い致します。

|  |
| --- |
| この調査は無記名で、コンピューターで数字による処理を行いますので、個人が特定されることはありません。また、集計においても、データの相関関係から個人が特定されないように最大限配慮いたします。ご意見を組合執行部内に留めることを希望される場合は、末尾にその旨、ご入力ください。紙ベースでの回答をご希望の場合、3月13日(土)までに回答を記入の上、お近くの組合員に提出してください。メールでのご回答をご希望の場合、3月13日(土)までに組合書記局までファイルをお送り下さい。(nichidai.kumiai@gmail.com宛に題名を「アンケート」として、ファイルを添付しメール本文には何も書かずにお送り下さい）。書記局で回答者の匿名化を徹底し、回答を集約・集計します。 |

**※** 日本大学教職員組合のHP「春闘要求アンケートのお願い」､もしくはQRコードを開いていただければ、Googleフォーマットの回答で出来ます。

**学部用**

【回答者の属性】

部科校名：

１．教員　　２．事務職員　　　　　　　１．男性　　２．女性

日大での勤続年数　　１．５年未満　　２．６年～１０年未満　　３．１１年～２０年未満　　４．２１年以上

あなたの雇用形態　　１．専任月額給　　２．専任年俸給

【全教職員の方にお聞きします】

問１－１.新型コロナによりどのような分野で問題が起きていますか。(複数回答可)

１．心身の健康

２．家計

３．ワークライフバランス

４．通常業務の停滞・停止（授業を含む）

５．研究の推進

６．会議・指示系統の乱れなど

その他:

問１－２．新型コロナ状況下で、業務全体にどのような問題が起きていますか。(複数回答可)

１．学生の状態が把握出来ない

２．学生対応の時間が増えた

３．通常業務に手間がかかるようになり、全体として業務時間が増えた

４．在宅ワークのために必要な経費がかかった

５．教職員間の連絡が薄くなるケースが増えた

６．安全対策のための業務が増えた

その他:

【教員の方にお聞きします】

問２－１.オンライン授業(ハイブリッド含む)でどのような問題が起きていますか。(複数回答可)

１．準備・採点などが増えた

２．ITスキルの習得が難しい

３．通信障害など

４．学生との個別対応の時間が増えた

５．授業水準を下げざるを得なかった（学生の理解度が下がった）

６．学生の状態を把握するのが難しい

７．指示の不徹底がおこりやすい

８．金銭的な負担が増えた

９．予算が執行できなかった。

その他:

問２－２．新型コロナ状況下で授業を行う（対面・オンラインとも）にあたり、どのような経費がかかりましたか。

１．パソコン・タブレットの購入

２．周辺機器の購入

３．通信費の増額　（携帯契約の見直し　ネットワーク回線の契約更新など）

４．特にない

その他

かかった経費の総額を概算でご記入ください。（　　　　　　　円　）

問２－３.新型コロナ状況下でかかった経費、また、今後予想される経費は、どこから支出しましたか。

１．学生教育予算（本来目的からの転用を含む）

２．個人研究費

３．私費

その他

問２－４.対面授業でどのような問題が起きていますか。(複数回答可)

１．対面の希望が通らなかった　行われていない

２．教室設備などが不十分である

３．安全対策（設備以外）が不十分である

４．安全対策のために業務が増えた

その他:

問２－５．新型コロナ状況下で、大学にどのような措置を希望しますか。

１．手当・一時金・設備補助費など、金銭的サポート

２．学生フォローアップ窓口の開設などの人的サポート

３．IT環境整備や、撮影・配信補助などの人的サポート

その他:

【全教職員の方にお聞きします】

2020年春闘要求では、ベース・アップ3,000円、一時金を6.58ヶ月＋38,500円に戻すことを要求しましたが、実績は18年連続でベアなし、一時金支給基準額が「基本給及び家族手当の6.55ヶ月」でした。

問３－１．どの程度のベース・アップを要求するのが適当と考えますか。

　１．1,000円以下　　２．2,000円程度　　３．3,000円程度　　４．4,000円程度　　５．5,000円以上　６．要求しない

問３―２．年間の一時金（賞与）の支給基準額について、2021年度春闘ではどのような要求をすることが妥当だと考えておりますか。月数および加算金額を記入してください。

《参考》2020年度春闘　組合要求　6.58ヶ月+38,500円　　　理事会1次回答　6.5ヶ月

　　　　　　　　　ヶ月　＋　　　　　　　　　円

賃金に関してご意見がありましたらお書きください。

【専任年俸給の方にお聞きします】

問４－１．年俸制度教職員には夏季及び冬季に一時金が出されていません。一時金を必要と思いますか。

１. 年俸が定まっているので不要　　　　２. 年俸額のほかに「勤勉手当」として支給されてしかるべきある

３．授業と研究以外の業務について、手当が支給されるべきである。

問４－２．問４－１の２ に〇をした人は、その額はどれくらいが妥当と考えますか。

　　１. 各期5,000円程度　　２.各期10,000円程度　　３.各期15,000程度　　４.各期20,000円

　　５．その他　各期（　　　　　　円程度）

【全教職員の方にお聞きします】

問５－１．日曜・祝祭日の出勤にあたって、託児施設、ベビーシッター、介護等への補助の制度があれば利用しますか。

家族構成が該当外の方は４を選んでください。

１. ぜひ利用する　　２. 毎回ではないにしても利用する可能性がある　　３. 利用しない　　４. この質問に該当しない

問５―２．問５－１で１.２を選んだなかで子どものいる方にお聞きします。大学に何を要望しますか。

１. 大学に臨時託児所を開設　　　　　　　　　２. 自宅近辺での託児所・ベビーシッター利用のための補助金

３．男性の育児者による各種制度の利用推進

その他

問５－３　　問５－１で１.２を選んだなかで要介護者いる方にお聞きします。大学に何を要望しますか。

１. 介護休暇（５日間）を有効に使うための方法を知るためのセミナー・相談窓口

２．介護休暇を１０日間程度まで増やし、時間休などで柔軟な対応

３. 介護の実費に対する補助金（休日出勤などに臨時ヘルパー利用など）

４．遠距離介護に対する交通費補助

５．介護休業（最大１年）の制度設置

６．介護による時短勤務制度の設置

その他

問６－１．大学の人権窓口等に相談に行ったことがある人にお聞きします。相談の結果をどう捉えていますか。

　１.満足のゆく結果となった

　２.多少不満は残るものの、ある程度の成果があった

　３.あまり成果を得られなかった

　４.まったく解決にはならなかった

　５.相談前よりも状況が悪化した

その他

問６－２. 大学の人権窓口等に行ったことがない人にお聞きします。これまで行かなかった理由は何ですか。（複数回答可）

　１.心理的に抵抗がある

　２.時間がない

　３.人権窓口を信頼できない

　４．必要がなかった

その他

【組合全体や執行委員会への意見・要望】

問７．組合に力を入れてほしいことを下記から選んでください。

　１．ベース・アップの獲得

　２．一時金月数の維持・向上

　３．生活関連手当(住宅費補填手当-家族手当・通勤手当など)の改善

　４．職務関連手当(役職手当・各種委員会手当・増担手当など)の改善

　５．労働時間の改善(超勤問題・持ちコマ問題を含む)

　６．校務・業務の見直し

　７．職場環境の改善

　８．適正な教職員数の確保 (非常勤講師の確保を含む)

　９．学部新設・移転、事務組織の改編による不当労働行為などの防止

　10.無期・有期教職員間の不合理な処遇格差の解消

　11.再雇用制度の拡充

　12.育児支援の充実

　13.介護支援の充実

　14.福利厚生政策の充実

　15.法人による中長期事業計画の進め方の是正

　16.法人のガバナンスのあり方

　17.新型コロナウイルス感染防止のための対応(感染防止策の強化や情報の周知徹底、労働環境の改善等)

　18.ジェンダーエンパワーメントの推進（女性管理職登用など）

その他

問８．組合全体や執行員会の活動など、ご意見・ご要望があればお書きください。

【理事会・大学本部に伝えたいこと】

問９．最後に、日本大学で働く教職員として、あなたが田中理事長や理事会、大学本部に最も強く要求したいことや主張したいことをお書き下さい。

ご協力ありがとうございました